

手術をすることで、どんなメリットがあるの？

性ホルモンに関連した
病気の予防

○メス・・・乳腺腫瘍、子宮蓄膿症 など

○オス・・・精巣腫瘍、前立腺疾患 など

性ホルモンに関連した
問題行動の抑制

○メス・・・発情期のストレスがなくなる。
ワンちゃんの場合は出血のお世話が
なくなる。

○オス・・・マーキング(スプレー)行為をしなくなる。
吠えたり、独特の大きな声で鳴くことが
なくなり発情期のストレスがなくなる。
特にワンちゃんの場合はお散歩中などに
メスのワンちゃんに飼い主さんが気を
遣わなくてもよくなる。

望まない
妊娠を避ける

気を付けていても外に出てしまうなどで望まない妊娠を
してしまうこともあります。



発情期にはオス・メスともに、相手を探して外にでてしまうことがあります。
事故にあってしまうこともあります。
外に出られなければそれが強いストレスにもなります。

はじめての発情前に避妊・去勢手術をすると、幼い時の愛らしい
印象が残る・おとなしくなる・飼いやすい性格になるともいわれています。



手術のデメリットはないの？

肥満になりやすい

基礎代謝率の減少により30%ほどの消費カロリーが
減るため、肥満になりやすい傾向があります。
肥満は専用の食事でコントロールできます。
(肥満をコントロールすることで糖尿病や尿路結石症も
予防できます)

手術による発症

稀ですが、大型犬のメスで尿失禁が発症する可能性や
一部の犬種で脱毛などが見られます。
この場合長期的なホルモン剤の投与が必要です。

他にも手術により引き起こされる病気(前立腺癌、膀胱腫瘍 等)もあるといわれていますが、
年齢や手術前の病気の有無などにより異なる為、心配な場合は当院にお気軽にご相談ください。



デメリットは、ほとんど解決できる程度です。

1歳未満で避妊・去勢手術をすることで防げる病気もあり、
麻酔量が少なく済む・キズが小さくて済むなどのメリットもあるので、
かわいいワンちゃん・ネコちゃんのためにも早めの手術をお勧めします。

